

ハンドボール

No. 35

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 少年女子

- 全国大会
- フロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号 **A-n**

年月日 **2023 年 10 月 10 日 (火)**
大会名 **特別国民体育大会 燃ゆる感動かしま団体 ハンドボール競技**

公 式 記 録 用 紙

(A) 東京都										兵庫県										(B)			
都道府県 鹿児島県		市町村 霧島市				会場 霧島市国分体育館						回戦 準決勝											
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m加- ンアウト	A	B									
7m得点/総数	A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数										
	2/2	1	2 後	3					1	2 後	3	3/5											
			2945	2458					2726	1457													
No.	東京都					G	W	2'	2'	D	DR	No.	兵庫県					G	W	2'	2'	D	DR
1	石黒 櫻子											1	鶴谷 真涼										
2	佐茂 春陽					2						2	黒木 優					2					
3	福田 舞希					1						3	伊原 泉					4	1				
4	木尾 珠里奈					6						4	中山 果凜										
5	井上 咲稀					1						5	矢野 真尋					6					
6	長谷川 凜					2			1			6	村田 瑞季					2	1				
7	市橋 菜々子					6						7	北 和香奈					3					
8	普久原 朱怜					5						8	中野 柚季										
9	塩釜 優依					1						9	和田 夏由美					2					
10	熊谷 悠帆											10	向 理緒										
11	村松 祐奈											11	後藤 結香					1					
12	多田 陽南子											12	由井 美羽										
監督A	須川 文敬											監督A	野路 良子										
役員B	榎本 満里奈											役員B	洪 徳顯										
役員C	田中 久樹											役員C	野路 嗣治										
役員D	高野 ひとたけ																						

A **須川文敬** チーム役員A署名 **野路良子** B

特記事項

レフェリー	神田 史郎	田上 大介	神田史郎 田上大介
T D	河野 真育	廣森 健太郎	河野真育 廣森健太郎
M O	石崎 章弘		石崎章弘

得点(G), 警告 (W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

試合結果・戦評報告書

競技日	10月10日(火)	試合番号	A-n	回戦	準決勝
種別	少年女子	会場	霧島市 国分 体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
東京			兵庫		
得点合計	小計		小計	得点合計	
24	12	前半	11	20	
	12	後半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

試合開始7人攻撃から7mTを奪った東京は、②佐茂の得点で試合の幕を開けた。序盤7人攻撃からのコンビプレーに対して、兵庫は固いディフェンスからの切り替えの早い攻撃を見せ⑥矢野のミドルシュートや②黒木の速攻で得点を奪う。東京の多彩なコンビプレーに対し、兵庫はディフェンスシステムを変化させ対応を図るが、④木尾⑧普久原に連続してミドルシュートを決められてしまう。しかし、徐々に7人攻撃への対応を見せる兵庫は⑦北⑨和田の得点などで同点に追いつく。前半も終盤に入り、通常のアフェンスに戻した東京に対し、兵庫はGK①鶴谷の好キーピングから⑥矢野⑥村田の得点につなぎ逆転する。しかし東京も速攻などですぐさま再逆転。前半ラスト、東京④木尾がノータイムフリースローでゴールを狙うも兵庫ディフェンスのブロックに阻まれ、12対11の東京1点リードで前半を終えた。

後半開始、東京⑧普久原④木尾のミドルシュートが決まり東京がリードを3点に広げる。ここで兵庫も7人攻撃を見せ、お互い点を取ったら取られる膠着した展開になる。後半13分、東京は⑥長谷川の2分間退場と7mTを受けるが、GK⑩多田がファインセーブ。その後、勢いに乗ったアフェンスを見せリードを広げる。兵庫も③伊原のポストシュートなどで必死に食らいつき6点差の状態で残り時間は10分に。互いに譲らぬ展開が続く、東京は5点リード残り5分の状況でタイムアウトを請求。東京が要所を締める展開で、リードを保ったまま4点差で逃げ切った。

	記載者氏名	磯端 要	
	送信日時	10月10日(火)	16:45